

残された問題点

T. nilotica の養成において植物プランクトンの餌料価値が充分認められた。今回の試験では、止水式における給餌方法の養成で検討され若干の知見を得ることができたが、放養密度や池の構造あるいは流れによる影響等については検討されていない。従って今後の試験でこれらについて検討する必要がある。

また、海水馴化した T. nilotica の成長に関しては、水温 20℃ 以下の越冬飼育で塩分の阻害的影響とみられる死亡魚が多く出現したのでこのことについても検討する必要がある。

T. mossambica を餌料としたハタ類の養成について試験開始が低水温期（16℃）に行なわれたことなどで大部分の供試魚が死滅したため再試験する必要がある。